

令和4年度事業報告

令和4年度において実施した事業については、次のとおりである。

第1 概 要

1 健康診断事業の推進

令和2年度当初から主に新型コロナウイルス感染症の影響でコロナ前に比べ受診者が減少してきたが、感染症対策（定員数の減少、マスク着用、手指消毒、検温など）を徹底し、市町村及び事業所等と連携を図って健診事業の実施に努めたところ、令和4年度においては、住民健診・事業所健診事業について、特定健康診査、定期健康診断、協会けんぽ健診及びドック健診の実施数が、前年度比約0.2%にあたる342人増加の147,437人の実施となり、がん検診等では前年度比約0.6%にあたる延人数3,008人減少の504,061人の実施となった。

2 大腸がん検診モデル事業

大腸がん検診モデル事業については、令和3年度より1市町村多い8市町村（五所川原市、十和田市、五戸町、南部町、鶴田町、大鰐町、三戸町、新郷村）から委託を受け、大腸がん検診未受診者を対象に便潜血検査を6,289人に勧奨したところ、20.4%にあたる1,283人の実施となった。検査の結果、要精検者は99人（7.7%）となり、令和5年度についても各市町村の希望により実施することとした。

3 がん検診受診率・精検受診率の向上強化

受診率の向上強化のため、40市町村中、申込のあった33市町村に受診勧奨パンフレットを135,000部作成し配布した。また、各市町村及び各事業所等に精密検査の受診率向上を目的とした精検受診勧奨パンフレットを14,000部作成し配布した。

4 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチン接種に係る基本型接種施設として、令和4年度において青森県及び関係市町村から接種業務を受託し、延べ51,621件のワクチン接種を実施した。

5 検診機器等の整備

- | | |
|------------------------|--------|
| (1) 上部消化管用内視鏡（経鼻内視鏡5他） | 1式（新規） |
| (2) 超音波診断装置 | 2台（更新） |
| (3) 電子カルテ・医事会計システム | 1式（新規） |

第2 通常事業

1 検診及び受託検査等の総括

市町村、事業所等の委託を受け、検診・検査事業を弘前大学大学院医学研究科、保健所、医師会及び医療機関の協力・指導のもとに次のとおり実施した。

令和2年度では新型コロナウイルス感染拡大により延べ62,218人減少となり、3年度は24,050人の回復となったが、今年度では前年度比4,696人の減少となった。

また、受託検査等については、細胞診の受託数が2,030人の減少となった。

検診及び検査等総括表

単位：人

年度 検診項目	令和4年度	令和3年度	増減(△減)	備考
1 特定健康診査	53,724	53,313	411	
2 定期健康診断	67,643	68,472	△ 829	
3 人間ドック健診	6,320	5,930	390	
4 協会けんぽ健診	19,750	19,380	370	
特定健康診査等 計	147,437	147,095	342	
5 結核検診	144,530	144,091	439	
6 肺がん検診	83,868	82,952	916	
7 胃がん検診	69,185	69,425	△ 240	
8 大腸がん検診	97,823	97,449	374	
9 子宮がん検診	35,125	37,830	△ 2,705	
10 乳がん検診	21,765	23,109	△ 1,344	
11 前立腺がん検診	19,234	19,570	△ 336	
12 学校心臓検診(心電図検査)	9,692	10,035	△ 343	
13 骨密度測定検診	8,696	8,815	△ 119	
14 腹部超音波健診	12,201	11,830	371	
15 特定保健指導	1,942	1,963	△ 21	
がん検診等 計	504,061	507,069	△ 3,008	
16 細胞診受託検査	23,491	25,521	△ 2,030	
受託検査等 計	23,491	25,521	△ 2,030	
総延人数	674,989	679,685	△ 4,696	

2 各種検診、検査等別実施状況

(1) 特定健康診査

健診車5台、機器運搬車7台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は 53,724人で、そのうち要精検は10,504人（19.6%）、医療継続は34,071人（63.4%）、要指導8,407人（15.6%）となった。

特定健康診査実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		医療継続		要指導		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
出張検診	市町村	45,525	8,472	18.6	29,957	65.8	6,614	14.5	596	76
	社保等	3,122	699	22.4	1,461	46.8	837	26.8		5
センター	市町村	4,008	1,020	25.4	2,274	56.7	640	16.0	73	55
	社保等	897	270	30.1	308	34.3	268	29.9	157	6
健管センター	社保等	172	43	25.0	71	41.3	48	27.9	104	2
合計		53,724	10,504	19.6	34,071	63.4	8,407	15.6	930	58

(2) 定期健康診断

事業所の従業員等を対象にコース別に実施した。

Aコースで12,843人、Cコースで44,852人、その他のコースで9,948人の計67,643人が受診し、受診者の22.5%に当たる15,214人が要精検となり、37.9%に当たる25,638人が要指導となった。

Aコース 34歳以下の者及び36歳以上39歳以下の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診)

Cコース 35歳の者及び40歳以上の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診・心電図検査・貧血検査・血糖検査・肝機能検査・血中脂質検査・腎機能検査)

その他のコース 簡易健康診断等

定期健康診断実施状況

方式別	実施人員				要精検		要指導		実施日数	一日当り 実施人員
	Aコース	Cコース	その他の コース	計	人員	率	人員	率		
出張検診	8,965	29,722	8,517	47,204	10,429	22.1	17,306	36.7	690	68
センター	2,233	9,625	1,221	13,079	3,001	22.9	5,115	39.1	242	54
健康管理センター	1,645	5,505	210	7,360	1,784	24.2	3,217	43.7	349	21
合計	12,843	44,852	9,948	67,643	15,214	22.5	25,638	37.9	1,281	53

(3) 人間ドック健診

ア. 一日ドック簡易コース

各事業所の委託を受け前年度 575人より21人増加の 596人に実施し、36.2%に当る216人が要精検となり、25.2%に当る 150人が要指導となった。

イ. 一日ドック標準コース

各事業所の委託を受け前年度 3,992人より236人増加の4,228人に実施し、33.8%に当る 1,429人が要精検となり、24.0%に当る1,014人が要指導となった。

ウ. 二日コース

各事業所の委託を受け前年度 107人より14人減少の 93人に実施し、42.0%に当る39人が要精検となり、5.4%に当る 5人が要指導となった。

エ. その他のコース

各事業所の委託を受け前年度 1,256人より147人増加の 1,403人に実施し、32.1%に当る 451人が要精検となり、19.8%に当る 278人が要指導となった。

○人間ドック健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	ドックセンター	健管センター	合計
肺がん検診	5,656	623	6,279
胃がん検診	4,642	516	5,158
大腸がん検診	5,515	607	6,122
子宮がん検診	1,687		1,687
乳がん検診	2,070		2,070
前立腺がん検診	3,127	401	3,528
腹部超音波健診	5,649	624	6,273
骨密度測定検診	2,479		2,479

(4) 協会けんぽ健診

全国健康保険協会の委託を受けセンター診療所 5,138人、附属あおり人間ドックセンター 943人、附属あおり健康管理センター13,669人、計19,750人実施し、前年度19,380人より 370人増加となった。

○協会けんぽ健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	センター	ドックセンター	健管センター	合計
結核検診	5,058	766	13,621	19,445
胃がん検診	3,176	532	10,094	13,802
大腸がん検診	4,319	914	12,946	18,179
子宮がん検診	289		808	1,097
乳がん検診	231		695	926
腹部超音波健診（付加）	75	58	204	337

(5) 結核検診

検診車11台による出張検診とセンター診療所で、原則として65歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村（一般住民）47,177人、事業所 71,472人、学校関係 15,258人（高校生 9,263人、大学生 5,265人、その他 730人）社会福祉施設 10,623人、計 144,530人で、前年度よりも 439人の増加となった。

なお、受診者 144,530人中 1.5%の 2,231人が要精検となった。

結核検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	44,112	228	0.5	631	70
	事業所	36,034	522	1.4	703	88
	学校関係	15,150	92	0.6		
	社会福祉施設	10,623	778	7.3		
	小計	105,919	1,620	1.5	1,334	79
センター	市町村	3,065	0	0.0	70	44
	事業所	14,677	215	1.5	242	61
	学校関係	108	0	0.0		
	社会福祉施設	0	0	0.0		
	小計	17,850	215	1.2	312	57
健管センター	事業所	20,761	396	1.9	351	59
合 計	市町村	47,177	228	0.5	701	67
	事業所	71,472	1,133	1.6	1,296	75
	学校関係	15,258	92	0.6		
	社会福祉施設	10,623	778	7.3		
			144,530	2,231	1.5	1,997

(6) 肺がん検診

原則として40歳以上の者を対象とするX線撮影をベースとし、50歳以上のハイリスク者には喀痰細胞診検査を併せて実施した。

ア. X線撮影	受診者は市町村(一般住民) 60,447人、事業所 22,858人、事業所(C T) 563人の計 83,868人で、2.3%に当る 1,889人が要精検となった。
イ. 喀痰細胞診検査	受診者は市町村(一般住民) 767人、事業所 1,083人の計1,850人で、その 0.2%に当る 3人が要精検となった。

肺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	55,450	1,375	2.5	634	87
		事業所	14,311	181	1.3	266	54
		小計	69,761	1,556	2.2	900	78
	センター	市町村	4,997	121	2.4	78	64
		事業所	2,423	33	1.4	176	14
		小計	7,420	154	2.1	254	29
	ドックセンター	事業所	5,093	84	1.6	213	24
	健管センター	事業所	1,031	13	1.3	202	5
		市町村	60,447	1,496	2.5	712	85
		事業所	22,858	311	1.4	857	27
		小計	83,305	1,807	2.2	1,569	53

X線撮影(CT)	ドックセンター	事業所	549	76	13.8	185	3	
		事業所(二次)	14	6	42.9			
	小計	563	82	14.6				
X線撮影		市町村	60,447	1,496	2.5	712	85	
		事業所	23,421	393	1.7	1,042	22	
		合計	83,868	1,889	2.3	1,754	48	
喀痰検査		出張検診	市町村	746	3	0.4	634	1
			事業所	333	0	0.0	266	1
			小計	1,079	3	0.3	900	1
		センター	市町村	21	0	0.0	78	0
			事業所	132	0	0.0	176	1
			小計	153	0	0.0	254	1
		ドックセンター	事業所	442	0	0.0	173	3
		健管センター	事業所	176	0	0.0	202	1
		健管センター	市町村	767	3	0.4	712	1
			事業所	1,083	0	0.0	817	1
			合計	1,850	3	0.2	1,529	1

(7) 胃がん検診

検診車8台とセンター診療所で、原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 38,085人、事業所 31,100人の計 69,185人で、6.7%に当たる4,605人が要精検となった。

胃がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り 実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	35,663	2,700	7.6	970	37
		事業所	8,941	467	5.2	296	30
		小計	44,604	3,167	7.1	1,266	35
	センター	市町村	2,422	208	8.6	107	23
		事業所	5,977	268	4.5	230	26
		小計	8,399	476	5.7	337	25
	ドックセンター	事業所	3,474	196	5.6	214	16
	健管センター	事業所	11,540	691	6.0	346	33
	合計	市町村	38,085	2,908	7.6	1,077	35
		事業所	29,932	1,622	5.4	1,086	28
			68,017	4,530	6.7	2,163	31
	内視鏡検査(ドックセンター)		事業所	1,168	75	6.4	213
合計		市町村	38,085	2,908	7.6	1,077	35
		事業所	31,100	1,697	5.5	1,299	24
			69,185	4,605	6.7	2,376	29

(8) 大腸がん検診

原則として、40歳以上の者を対象にS P I A法による免疫便潜血検査(2日法)で実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 58,757人、事業所 39,066人の計 97,823人で、5.0%に当たる4,888人が要精検となった。

大腸がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	54,008	3,016	5.6
	事業所	11,145	426	3.8
	小計	65,153	3,442	5.3
センター	市町村	4,749	237	5.0
	事業所	7,578	329	4.3
	小計	12,327	566	4.6
ドックセンター	事業所	5,492	215	3.9
健管センター	事業所	14,828	664	4.5
合計(便潜血検査)	市町村	58,757	3,253	5.5
	事業所	39,043	1,634	4.2
		97,800	4,887	5.0
内視鏡検査(ドックセンター)	事業所	23	1	4.3
合計	市町村	58,757	3,253	5.5
	事業所	39,066	1,635	4.2
		97,823	4,888	5.0

(9) 子宮がん検診

検診車2台とセンター診療所で、原則として隔年で20歳以上を対象とする子宮頸がん検診をベースとし、40歳以上、最近6ヶ月以内に不正性器出血症状があった者のうち、医師が判断して本人の同意を得た者には子宮体がん検診を実施した。

子宮頸がん検診受診者は、市町村(一般住民) 30,416人、事業所 4,709人の計 35,125人で、受診者の 1.6%に当る 545人が要精検となった。

子宮体がん検診は、頸がん検診受診者 35,125人の 0.1%に当る 46人に実施した。

子宮がん検診実施状況

1) 子宮頸がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	14,270	142	1.0	270	53
	事業所	413	3	0.7	19	22
	小計	14,683	145	1.0	289	51
センター	市町村	1,917	24	1.3	75	26
	事業所	1,312	20	1.5	75	17
	小計	3,229	44	1.4	150	22
ドックセンター	事業所	1,687	27	1.6	108	16
健管センター	事業所	1,297	31	2.4	40	32
日母検診	市町村	14,229	298	2.1		
合計	市町村	30,416	464	1.5	345	
	事業所	4,709	81	1.7	242	
		35,125	545	1.6	587	

2) 子宮体がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	2	0	0.0
日母検診	市町村	44	2	4.5
合計	市町村	46	2	4.3

(10) 乳がん検診

検診車3台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として隔年で40歳以上を対象に実施した。

実施方法は、40～59歳はマンモグラフィ2方向撮影、60歳以上はマンモグラフィ1方向撮影とした。

受診者は、市町村(一般住民) 17,421人、事業所 4,344人の計 21,765人で、6.3%に当る1,365人が要精検となった。

乳がん検診実施状況

方式別	区分	方法	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
				人員	率		
出張健診	市町村 事業所	X線	15,206	862	5.7	279	55
		X線	261	20	7.7	16	16
		計	15,467	882	5.7	295	52
センター	市町村 事業所	X線	2,215	184	8.3	61	36
		X線	866	65	7.5	16	54
		計	3,081	249	8.1	77	40
ドックセンター	事業所	超音波	506	36	7.1	125	超音波
		X線	33	3	9.1		16
		超音波+X線	1,531	135	8.8		X線
		計	2,070	174	8.4		13
健管センター	事業所	X線	1,147	60	5.2	135	8
合計	市町村	X線	17,421	1,046	6.0	292	51
		超音波	506	36	7.1		超音波
	事業所	X線	2,307	148	6.4		16
		超音波+X線	1,531	135	8.8		X線
合計		計	4,344	319	7.3	13	
		超音波	506	36	7.1	超音波	
		X線	19,728	1,194	6.1	16	
		超音波+X線	1,531	135	8.8	X線	
			21,765	1,365	6.3	632	34

(11) 前立腺がん検診

原則として、50歳以上の男性を対象に実施した。受診者は、市町村 9,398人と事業所 9,836人の計 19,234人で、4.7%に当る 908人が要精検となった。

前立腺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	9,360	548	5.9
	事業所	3,810	155	4.1
	小計	13,170	703	5.3
センター	市町村	38	2	5.3
	事業所	874	42	4.8
	小計	912	44	4.8
ドックセンター	事業所	3,127	91	2.9
健管センター	事業所	2,025	70	3.5
合計	市町村	9,398	550	5.9
	事業所	9,836	358	3.6
		19,234	908	4.7

(12) 学校心臓病検診(心電図検査)

受診者は 9,692人で、要精検は 1.6%の 152人、要観察は 0.7%の 70人となった。

学校心臓病検診実施状況

	実施人員	要 精 検		要 観 察		合 計		実施日数	1日当り 実施人員
		人員	率	人員	率	人員	率		
小学校	4,861	65	1.3	26	0.5	91	1.9	69	113
中学校	2,958	65	2.2	14	0.5	79	2.7		
高等学校	1,732	38	2.2	9	0.5	47	2.7	17	102
大 学	141	2	1.4	0	0.0	2	1.4	3	47
合 計	9,692	170	1.8	49	0.5	219	2.3	89	109

※青森市教育委員会(小学校1,823人 中学校1,933人)合計3,756人は判定なしのため、実施人数には加算していない。

(13) 骨密度測定検診

D X A法(前腕骨骨塩量測定)及び超音波法(踵骨骨量測定)で実施した。

ア. D X A法…………… 市町村(一般住民) 3,856人、事業所 1,030人、ドック2,479人の計 7,365人で、受診者の 5.8%に当る 425人が要精検となり、13.9%に当る 1,022人が要指導となった。

イ. 超音波法…………… 市町村(一般住民) 954人、事業所 105人、若年者 272人の計 1,331人で、受診者の 16.2%に当る 215人が要精検となり、32.7%に当る435人が要指導となった。

骨密度測定検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		要指導		合計		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
D X A法	市町村	3,856	318	8.2	676	17.5	994	25.8	126	31
	事業所	1,030	43	4.2	128	12.4	171	16.6	131	8
	ドック	2,479	64	2.6	218	8.8	282	11.4	198	13
	小計	7,365	425	5.8	1,022	13.9	1,447	19.6	455	16
超音波法	市町村	954	184	19.3	388	40.7	572	60.0	28	34
	事業所	105	28	26.7	36	34.3	64	61.0	4	26
	若年者	272	3	1.1	11	4.0	14	5.1	4	68
	小計	1,331	215	16.2	435	32.7	650	48.8	36	37
合 計	市町村	4,810	502	10.4	1,064	22.1	1,566	32.6	154	31
	事業所	1,135	71	6.3	164	14.4	235	20.7	135	8
	ドック	2,479	64	2.6	218	8.8	282	11.4	198	13
	若年者	272	3	1.1	11	4.0	14	5.1	4	68
		8,696	640	7.4	1,457	16.8	2,097	24.1	491	18

※ただし、若年者は再検査として分類をしているが要精検者として計上した。

(14) 腹部超音波健診

各事業所等から委託を受け、12,201人に実施し、その9.8%に当る1,192人が要精検となった。

腹部超音波健診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検	
			人 員	率
出張検診	市町村	424	59	13.9
	事業所	1,621	77	4.8
	小 計	2,045	136	6.7
センター	市町村	0	—	—
	事業所	905	68	7.5
	小 計	905	68	7.5
ドックセンター	事業所	5,649	480	8.5
健管センター	事業所	3,602	508	14.1
合 計	市町村	424	59	13.9
	事業所	11,777	1,133	9.6
		12,201	1,192	9.8

(15) 特定保健指導

各市町村及び各医療保険者との委託契約のもと、40～74歳までの者を対象に実施した。
受診者は、動機づけ支援 1,027人、積極的支援 915人の計 1,942人となった。

腹 囲	追加リスク		対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧	喫 煙	40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	なし		
上記以外で BMI 25以上	3つ該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	なし		
	1つ該当			

特定保健指導実施状況

	動機づけ支援	積極的支援	計
市町村	293	105	398
社保等	734	810	1,544
合 計	1,027	915	1,942

(16) 細胞診受託検査

県立中央病院などの各国公立病院及び関係医療機関からの委託を受け、婦人科、呼吸器科、体腔液及びその他の細胞診検査を 23,491件実施し、前年度よりも 2,030件の減少となった。

細胞診検査(部位別)実施状況

		陽 性	疑陽性	陰 性	判定不能	合 計
婦 人 科	膣 頸 部	59	1,243	18,220	23	19,545
	体 部	39	110	3,239	152	3,540
	そ の 他	3	3	60	6	72
	小 計	101	1,356	21,519	181	23,157
呼吸器科	喀 痰	1	3	51	40	95
	気 管 支	20	2	30	0	52
	小 計	21	5	81	40	147
体 腔 液	腹 水	4	0	10	0	14
	胸 水	17	0	23	0	40
	小 計	21	0	33	0	54

そ の 他	泌 尿 器	4	7	99	7	117
	乳 腺	0	0	0	0	0
	甲 状 腺	0	0	0	0	0
	消 化 器	0	0	1	0	1
	そ の 他	2	0	13	0	15
	小 計	6	7	113	7	133
合 計		149	1,368	21,746	228	23,491
前 年 度		128	1,623	23,501	269	25,521

第 3 県からの委託事業の実施

令和 4 年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 大腸がん検診従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和5年3月7日 | 参加者29名 |
| (2) 肺がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和5年2月17日 | 参加者30名 |
| (3) 乳がん検診従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和5年2月10日 | 参加者39名 |
| (4) 胃がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和5年3月15日 | 参加者38名 |

第 4 普及啓発事業

1 各種検診等の広報普及活動の推進

がん征圧月間、結核予防週間、ピンクリボン月間、生活習慣病予防月間等の周知を図るため、各種保健衛生関連事業に協賛し、地元の新聞、テレビ、ラジオにより広告を行った。

2 普及宣伝資材の購入等

- (1) 結核、がん、生活習慣病等の予防及び健康の保持・増進に関する啓発資料を作成又は購入し各健康まつり、各検診会場で配布した。
- (2) 結核予防会の広報誌「複十字」及び「日本対がん協会報」を定期購入し関係機関等へ配布した。
- (3) 当センター広報誌「やすらぎ青森」を年2回発行し、関係機関等へ延べ1,800部配布した。

3 予防啓発の月間・週間の行事

- (1) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発強化を目的として、月間及び週間のPRのため、ポスター・チラシ等の配布を実施した。

がん征圧月間	(9月 1日～9月30日)
結核予防週間	(9月24日～9月30日)
生活習慣病予防月間	(2月 1日～2月28日)
- (2) 市町村等が実施する結核、がん又は生活習慣病の予防啓発事業、健康まつり等に参加協力し、パネル等を展示した。
- (3) 令和4年9月10日～11日に結核予防、がん征圧等の運動、啓発事業の一環として「RABまつり」へ参加した。

4 生活習慣病等集団検診従事者研修会

令和5年2月7日 青森市において市町村及び事業所の保健師等を対象に参加者135名を招き研修会を開催した。

第5 検診等協力団体への活動支援

1 青森県結核予防婦人会

(1) 結核予防週間期間にあわせて活動していた複十字シール運動街頭募金を令和4年9月10日～11日開催の「RABまつり」にあわせて実施した。

2 青森県よろこびの会(がん克服者の会)

新型コロナウイルスの感染拡大により、総会並びに研修会を3年連続中止とした。

第6 募 金 活 動

1. 結核予防事業の普及啓発及び資金造成のため、青森県結核予防婦人会、その他関係団体の協力を得て、複十字シール運動の募金活動を次のとおり展開した。

- | | |
|----------|------------|
| (1) 運動期間 | 令和4年8月～12月 |
| (2) 目標額 | 3,500,000円 |
| (3) 募金額 | 1,955,504円 |

2. がん予防事業の普及啓発及びその資金造成のため、会員制による募金運動を次のとおり実施した。

- | | |
|----------|-------------|
| (1) 運動期間 | 令和4年9月～5年3月 |
| (2) 目標額 | 2,000,000円 |
| (3) 募金額 | 2,677,340円 |

個人会員(176人) 996,000円、法人会員(94法人) 1,681,340円

第7 理事会・評議員会・評議員選定委員会の開催

1 理事会

令和4年6月3日	決算の確定を目的
令和4年7月8日	評議員選定委員の選任を目的(書面)
令和5年3月3日	次年度事業計画及び予算の確定を目的

2 評議員会

令和4年6月20日	決算の確定を目的
令和4年7月15日	理事の選任を目的(書面)
令和5年3月20日	次年度事業計画及び予算の確定を目的

3 評議員選定委員会

令和4年5月10日	評議員の選任を目的(書面)
-----------	---------------

第8 会議・研修会の開催及び参加

1 県内の会議等

乳がん検診画像読影委員会	オンライン開催
前立腺がん検診精度管理委員会	
骨密度(骨粗鬆症)検診判定委員会	オンライン開催

特定健康診査等判定検討委員会	オンライン開催
胃がん検診読影委員会	
腹部超音波健診読影委員会	
子宮がん検診管理指導委員会	オンライン開催
大腸がん検診指導管理委員会	
健診従事看護師研修会	中止
循環器健診従事医師打合せ会議	中止
肺がん検診読影委員会	オンライン開催

2 県外の会議等

- (1) 結核予防会関係
- | | |
|----------------------|----------|
| 結核予防全国大会 | (熊本県) |
| 事務局長研修会並びに全国支部事務連絡会議 | (東京都) 中止 |
| 東北・北海道ブロック会議 | (青森県) |
- (2) 日本対がん協会関係
- | | |
|--------------|---------------|
| がん征圧全国大会 | (三重県) オンライン開催 |
| 全国事務局長会議 | (東京都) オンライン開催 |
| 東北・北海道ブロック会議 | (北海道) オンライン開催 |

第9 主たる学会の参加

日本消化器病学会	(東京都)
日本消化器がん検診学会	(滋賀県) オンライン開催
日本消化器がん検診学会東北地方会	(山形県) ハイブリット開催
東北地区集検放射線技術部会	(新潟県) ハイブリット開催
日本乳癌検診学会	(静岡県) ハイブリット開催
日本臨床細胞学会 (春期大会)	(東京都) ハイブリット開催
日本臨床細胞学会 (秋期大会)	(宮城県) ハイブリット開催
細胞検査士教育セミナー	(東京都) Web開催
日本超音波医学会東北地方会	(福島県) ハイブリット開催
日本超音波検査学会	(東京都) ハイブリット開催